



DAISEN
CITY

だいせん

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS

大仙市
中学生議会
特集

黄桜(きざくら)の並木道

大台スキー場の入り口付近から
続く黄桜(きざくら)並木です。
例年5月上旬に見頃を迎え、東
北一の規模で咲き誇る黄桜のトッ
ネルは訪れた人々で賑わいます。

内 容

CONTENTS

- 2 ■中学生議会
- 6 ■第11回定例会
- 8 ■当初予算算質疑
- 9 ■一般質問
- 14 ■委員会審査のあらまし
- 16 ■所管事務調査・行政視察
- 18 ■市民の声 ほか



令和5年 大仙市中学生議会を開催しました

令和5年1月11日(水)に、令和5年中学生議会が開催されました。未来を担う市内10校20名の代表者が議長や議員となって、市政に対する質問・提案を行い、最後に「SDGsを意識した行動と笑顔が広がるまちづくり」に関する決議案の採決を行い、可決されました。

※主な質問内容と参加生徒の感想文(抜粋)を紹介します。
(□の部分が感想文)



議長：中仙中学校

副議長：西仙北中学校

西仙北中学校



金子 航大さん



田口 愛彩さん

質問 中学生のアイデアを生かした商品開発を地元企業と連携して行い、地域経済の活性化につなげることはできないでしょうか。

佐藤副市長 中学生ならではのアイデアや視点を加えた商品開発は、市内の魅力を掘り起こし、地域愛あふれる大仙市らしい商品が生まれることから、地域経済や商工業の活性化につながるものと考えています。地元企業との連携による商品開発が今後進められるよう、積極的に支援をしてまいります。

大仙市中学生議会に参加させていただき、とても貴重な経験ができました。

大仙市の商工業や経済について調べたり考えたりしていく中で、大仙市について深く知ることができました。大仙市の未来や課題にしっかりと向き合い、よい案を提案できたと思います。また、議会の進行はとても緊張しましたが、終わった時はものすごい達成感でいっぱいでした。今回の中学生議会を通して、これから

らの大仙市を背負っていくのは自分たちだという実感が湧いてきました。

大曲中学校



田口 楓恋さん



茂木 一歩さん

質問 持続可能な社会の実現に向けて、MySDGsカレンダーやアプリを作成することはできないでしょうか。

今野副市長 MySDGsカレンダーは、SDGsを周知する有効なツールの一つになり得ると受け止めています。今後、カレンダーも含め、さまざまな媒体による周知方法の研究を重ねていきたいと考えています。MySDGsアプリについても、SDGsの浸透と地域経済の活性化を組み合わせた仕組みは、さまざまな相乗効果が期待できるアイデアだと捉えており、実現性を含めて研究してみたいと考えています。

大仙市中学生議会に参加させていただき、これからつながる貴重な経験をさせていただくことができました。市のSDGsに関する取り組みを

どれくらい生徒が知っているのかアンケートを実施し、その結果や本校のMySDGsの取り組みを基に、市民として、もっとSDGsの取り組みに関わりたいと考え、今回の提案をさせていただきました。私たちのSDGsに関する考えがほかの中学校の提案で、より深まったと感じています。

大曲西中学校



深川 壮太さん



伊藤 優虹さん

質問 車いすバスケットボールやポッチャの交流会を各地域で開催し、小・中学校と協働で活動する機会をつくることはできないか。

市長 心のバリアフリー推進事業や人権ユニバーサル事業により、車いすバスケットボールの体験教室を障がい者への理解の促進を図ることを目的に開催しております。また、ポッチャについても、今後、小・中学校等の協力を得ながら交流の場をつくらせていきたいと思っております。

大仙市中学生議会に参加させていただき、たくさんのことを学び、考

えさせられました。

議会後の懇談会で「議員の皆さんが心掛けていることは何ですか」と質問し「意見を述べる際に公平性をもつこと」という言葉があり、新たな視点を教えていただきました。

今回の体験で「私たちのふるさと大仙市」の現状についてももっと知らなければならぬこと、今の立場でできること、提案した「ポッチャ」を生かした交流等の具体的な進め方などについて考えさせられました。

大曲南中学校



古谷 美結さん



伊藤 旬里さん

質問 だいせん日和を通じたSDGsの取り組みの紹介はできないでしょうか。

教育長 現在、だいせん日和では、SDGs17の目標を番号順に紹介し、日常的にできる取り組みや市の取り組みを紹介しています。学校や地元企業が行うSDGsの取り組み紹介は、市民の皆さんにSDGsについて考えていただけるきっかけとなると思います。ぜひ、だいせん日和をはじめ、ホームページなどにも掲載し、広く紹介させていただきたいと思えます。

め、ホームページなどにも掲載し、広く紹介させていただきたいと思えます。

大仙市中学生議会に参加したこと、貴重な体験をさせていただきました。

今回、中学生議会で他校や大仙市で行われている取り組みで参考になる活動ややってみたいと思うものがたくさんあり、興味をもちました。

SDGsの達成に向けて、改めて、自分ができることは何かを考えると、自分ができることは何かを考えたことができませんでした。これからは自分たちが支えていくんだという自覚をもつことができ、新しい取り組みに挑戦したいという意欲が芽生えました。

平和中学校



菅原 麻愛さん



細谷 冬芽さん

質問 さまざまな人の特性や特徴に応じて学校施設を有効活用する避難所運営ハンドブックを作成できないでしょうか。

佐藤副市長 平成27年に市の職員向けに避難所運営マニュアルを作成し、その中で、高齢者、障がい者、

妊婦などの要援護者の避難受け入れ要領についても盛り込んでいます。今後、さらに、特性や特徴に応じたマニュアルとなるよう見直しを図るとともに、車中泊避難やペット同伴避難など、多様化する避難にも対応できるように取り組んでまいります。

大仙市中学生議会に参加させていただき、とても貴重な経験をすることができました。

私たちが疑問に思っていることや提案したことに対して、市長さん、副市長さん、教育長さんが真剣に答えてくださり、私たちができることなどを教えてくれました。学校だけではなく地域のためにも何か貢献していきたいと強く思いました。

議場に入り、質問や提案をすることは簡単にできることではないと思います。中学生議会に関わることに全いが印象に残っています。



協和中学校



山谷 南紗さん



武藤 秀飛さん

質問 パープルリボン運動を大仙市全体に広げていくことは可能でしょうか。

今野副市長 パープルリボン運動には国際的に女性に対するあらゆる暴力をなくしていこうというメッセージが込められています。協和中学校ではスクールカラーにちなみ、いじめや困っている人を見逃さないという強い思いで、独自の取り組みを進めていることをご紹介いただきました。活動を市民の皆さんに知ってもらうため、ポスターやグッズなどを駅や市役所などに設置することについては、市も応援していきたいと考えています。

大仙市中学生議会に参加し、とても貴重な体験をさせていただいたことに感謝しています。

中学生議会でいただいた回答を参考に「パープルリボン運動」の拡大を実行に移したいと強く思いました。今回、私たち中学生も大仙市民の一員としてできることがたくさんあるということ学びました。地域の

方とコミュニケーションを図り、地域のために、そして大仙市のためにできることを積極的にしていこうと改めて考えることができました。

南外中学校



佐々木 百恵さん



今野 鈴音さん

質問 部活動の地域移行により、指導者確保のため「人材バンク」のようなものが大仙市でも構築されるのでしょうか。

教育長 国の示す例によると、指導者の人材バンクも一つです。スポーツ少年団の活動のように保護者や地域の人材が指導者となることも考えられます。また、休日は教員が地域の指導者として指導できるような体制整備も進められていると伺っております。中学生や保護者の皆さん、教員、地域の指導者にとってよりよい方法を検討していきたいと思っています。

私たちは、部活動の地域移行についての質問をさせていただきました。質問内容を決定するまでには、全校にアンケートを実施して不安や疑問点などを聞き、その内容を基に

私たちが議会の場で質問する内容を話し合いました。

ほかの中学校の方々の発表を聞くこと、さまざまな質問や提案があり、私たちにできることがたくさんあると気付きました。

この議会を通して、私たちの大仙市に対する思いは今までより強くなりました。

仙北中学校



田村 兼将さん



藤倉 嘉輝さん

質問 資源ごみの回収量を増やすために、資源回収拠点を増やすことはできないでしょうか。

市長 びん・缶、ペットボトル、古紙につきましては町内会等の集積所で回収しております。また、小型家電については市内8カ所、食品トレイについては市内37カ所、乾電池・蛍光管については16カ所の市庁舎や地域の公民館、市内企業の敷地などの回収拠点で回収しております。回収拠点の見直しを行いながら、現在の拠点にしか出すことのできない資源ごみについても、集積所への排出が可能になるよう検討を進めていき

たいと思っております。

大仙市中学生議会に参加させていただき、とても貴重な経験ができました。

質問づくりをしたことで、これまで知らなかった大仙市の取り組みや問題などを認識し、大仙市について自分で考えるようになりました。

微力ながら、中学生にも地域を盛り上げることはできると思います。学校内を活性化させるのはもちろん、何か地域を活性化させるような活動を地域の方々と協力して行っていけたら良いと考えます。

太田中学校



草薙 大翔さん



佐々木 佑季音さん

質問 大仙市内の公園に市民が共同で整備する花壇を設け、花を観賞する場を設けることはできないでしょうか。

市長 今年度から、旧市町村の各地域にまずは1カ所ずつ、計8カ所に、その公園を地域の拠点となる公園と定めて、子育て支援にも役立つ、にぎわいのある公園の整備を計画的に進めております。今後、花

壇の整備を計画している公園もあり
ますので、地域の皆さんから整備に
ついてご協力をいただける花壇につ
いても増やしてまいりたいと考えて
おります。

3年に1度の大仙市中学生議会に
参加させていただき、とても貴重な
体験となりました。

私たちは太田地域で盛んな花壇に
ついて調べることを通して、これま
での活動を大切にしながら、さらに
地域を明るくするために何ができ
るかを考えることができました。

地域のために私たち中学生にでき
ることも、思っている以上にたくさ
んあるのだと気付きました。大仙市
に住む全ての人が大仙市民であるこ
とを誇りに思えるような大仙市をつ
くっていききたいです。

中仙中学校



森川 奈央さん



藤田 悠亜さん

質問 市民の健康促進につながる取
り組みとして「大仙市の花」コスモ
スの市全域での栽培促進と活用がで
きないでしょうか。

今野副市長 コスモスの利活用につ

いては、主に観賞用として考えてき
ましたが、ご提案いただいた健康を
増進する食材としての活用方法な
ど、新たな可能性があることが分か
りました。市の花コスモスが、健康
増進や観光振興につながるのでは
ないか、大変素晴らしいことであるた
め、コスモスの食材や染料としての
利活用について研究していきたいと
思います。

今回は大仙市中学生議会に参加す
ることができ、大変貴重な体験がで
きました。

当日は、自分たちの学校だけでな
く、ほかの学校の質問や提案を聞く
ことができました。学校での体験を
生かしたユニークな発想は、とても
参考になりました。今まで知らな
かった大仙市の魅力について新しく
知ることができ、自分たちでももっ
と調べてみたいと思いました。

また、議長席に座れたこと、議長
席からの景色は、一生の思い出とな
りました。



決議案を提案



全員の起立賛成で可決

市議会議員と中学生との懇談会を開催しました

中学生議会終了後には、初めてとなる市議
会議員と中学生との懇談会を開催しました。

はじめに、青柳議員から市議会について
説明があり、「提言（一般質問、請願）」
「議事（予算審議、協議会）」「ルールづく
り（条例の制定・改廃）」「監視（決算審
査）」の四つの議会の役割のほか、議員以外
の仕事（兼業）についても紹介がありまし
た。

最後に、中学生から議員に対してさまざ
まな質問をいただきました。



青柳議員が市議会について紹介

青柳議員は盛岡市
出身なのに、なぜ
大仙市に？



刈和野駅に自動改
札はできないので
しょうか？



大仙市のここが素
晴らしいと思うと
ころは？



議会で議員として
参加する時に心が
けていることは？



学生時代から議
員が目にとまっ
ていたり、誰か
の役に立ちたい
と想っていたり
していたのか？



議長になって今ま
で1番大変だっ
たことは？



議長になって今ま
で1番大変だっ
たことは？



議長になって今ま
で1番大変だっ
たことは？



第1回定例会



本会議第5日 起立採決



QRコードから録画中継
(大仙市議会YouTubeチャンネル)に
アクセスできます。

※第1回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます。

第1回定例会は、2月22日(水)から3月17日(金)までの24日間の会期で行われました。

本会議1日目、老松市長の施政方針演説が行われ、市当局提出の人事案2件に同意しました。

本会議2日目・3日目の一般質問では9名の議員が市政全般について、4日目の予算質疑では5名の議員が当初予算について、市当局に質問しました。

本会議5日目には、市当局提出の条例案22件、単行案5件、補正予算案7件、当初予算案19件を原案可決したほか、請願1件を採択、陳情5件のうち1件を採択、1件を一部採択、3件を不採択、意見書案3件を原案可決しました。

追加提案された議会運営委員会提出の条例案2件、会議規則1件を原案可決しました。

人事案

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

【全会一致で同意】

和田美砂子氏(大曲地域・再推薦)
柴田 敬史氏(大曲地域・再推薦)

条例案

▼大仙市長および副市長の給与および旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

職員の庁舎および公共施設敷地内での喫煙に係る事案を受け、市長、副市長等の給料を減額するものです。

補正予算案

▼令和4年度大仙市一般会計補正予算(第10号)

【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ18億8396万1千円を追加し、補正後の総額は490億484万8千円となりました。

主なもの

○公共施設適正管理基金積立金(公共施設の維持補修や修繕、施設解体費用および利子分の積立金) 2億2万4千円

○大仙市庁舎整備基金積立金(庁舎の整備に係る積立金) 1億円

○大仙市学校施設再編整備基金積立金(市内小・中学校の再編整備に係る積立金) 1億円

当初予算案

▼令和5年度大仙市一般会計予算

【賛成多数で可決】

令和5年度の一般会計歳入歳出予算の総額は447億1600万円で、前年度比それぞれ15億1480万円、率にして3.5パーセントの増となりました。

また、国民健康保険事業特別会計など14特別会計の総額は109億1330万7千円、市立大曲病院事業会計など4企業会計予算の総額は97億8323万円で、これらを合わせた大仙市全体の予算は、654億1253万7千円になりました。

【反対討論】

佐藤 文子 議員(日本共産党)

本予算案は、地方財政計画に沿って編成されており、その特徴は、マイナンバー予算をはじめとするデジタル田園構想の推進や公立病院ガイドラインによる地域医療構想の促進、そして、公的サービスの産業化と一体の行革などを地方自治体に押し付けるものとなっており、賛成できないのである。デジタル技術の普及そのものには反対ではないが、岸田政権が進めるデジタル化は巨額の税金を投入し、行政サービスの後退や財界への利益誘導と官民癒着の拡大を招く一方、国民には個人情報漏えいの危険や負担増と給付制限を招く恐れがあり、無批判に推進することは問題である。また、会計年度任用職員の劣悪な処遇問題は、官製ワーキングプアと指摘され、国と自治体による

無責任な働き方に対する雇用の在り方が社会問題化している。自治体の会計年度任用職員の低賃金改善は民間の賃金構造に波及することにもなるため、大幅な賃上げを求める。
政府の地方財政動向との関連で、看過できない問題の一端を指摘し、反対する。

【賛成討論】
安達 成年 議員（大地の会）

前年度比3.5パーセント増で、財政調整基金の取り崩しによる編成ではあるが、30億の財政調整基金を確保し、限られた財源を効率的にバランスよく配分されたという理解をする。
歳入は前年度比1.1パーセント増で、コロナ禍を抜け出した後の経済的回復に期待しての市税の増と思いが、未来の大仙市がかかっていることでもあり、大いに期待する。
財政力指標を県内他の自治体と比べると実質公債費比率は年々確実に改善されており、将来負担比率は100を切り、基金の積み増しをこれまで着実にやってきたからであると思われ、毎年続けることが必要と考える。
今後財政的には厳しさも増すと思われるが、全庁一丸となつて、気を引き締めた行政運営をお願いするとともに、市民の生命と安全・安心な生活を守っていただくよう、老松市長のリーダーシップとそれを支える職員には高い期待を申し上げ、本予算に賛成する。

請願

▼**免税軽油制度の継続を求める請願書**

【全会一致で採択】

陳情

▼「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書

【賛成少数で不採択】

【賛成討論】

佐藤 文子 議員（日本共産党）

インボイス制度により、零細・小規模事業者等の免税だった方々が課税事業者となることで、消費税負担が大幅に増えることとなり、今後の営業に大変厳しさが増すというところで、全国各地で反対の動きがある。ぎりぎりまで申請をしない方々も実際にいるというところで、インボイス制度の実施延期をしてもらいたいという願いを認め、意見書を送付したところ、皆さんにお願いし、賛成討論とする。

▼再生可能エネルギーを使った地方の人口減少に歯止めをかける仕組み作りを求める陳情

【全会一致で不採択】

▼米余りを解消し、食料自給率を高めるために水稲収穫量調査の基準見直しを求める陳情

【全会一致で不採択】

▼消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的な改正を求める陳情書

【全会一致で採択】

▼「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書のうち、最低賃金の大幅引き上げの部分について

【全会一致で採択】

▼「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書のうち、地域間格差をなくす部分について

格差をなくす部分について

【賛成少数で不採択】

意見書

▼免税軽油制度の継続を求める意見書

【全会一致で可決】

▼「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める意見書

【全会一致で可決】

▼最低賃金の改善を求める意見書

【全会一致で可決】

こちらから
本会議資料
(大山市ホームページの
議会のページ)
にアクセス
できます。



●令和5年度一般会計・特別会計・企業会計予算（単位：千円）

| 会計名 | | 予算額 | 前年度比 |
|------|------------|------------|--------|
| 一般会計 | | 44,716,000 | 3.5% |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 8,579,647 | 0.4% |
| | 後期高齢者医療 | 1,069,995 | ▲1.2% |
| | 学校給食事業 | 1,051,360 | ▲20.3% |
| | 奨学資金 | 25,199 | ▲2.7% |
| | 企業団地整備事業 | 1,610 | ▲93.8% |
| | スキー場事業 | 48,704 | 5.5% |
| | 太陽光発電事業 | 118,369 | ▲6.0% |
| | 小水力発電事業 | 2,000 | 0.0% |
| | 財産区（6地区） | 16,423 | 127.4% |
| 企業会計 | 市立大曲病院事業 | 1,243,929 | 1.6% |
| | 上水道事業 | 1,212,143 | 1.6% |
| | 簡易水道事業 | 2,172,416 | 0.4% |
| | 下水道事業 | 5,154,742 | ▲3.2% |
| 計 | 65,412,537 | 1.7% | |

第1回定例会賛否一覧

| 議案等名 | 議決結果 | 大地の会 | | | | | だいせんの会 | | | | | 新政会 | | | 公明党 | 福 | 体 | | | | | | | | | | |
|--|------|------|----|----|----|----|--------|----|----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|---|---|
| | | 鎌田 | 金谷 | 大山 | 佐藤 | 後藤 | 山谷 | 安達 | 青柳 | 高橋 | 佐藤 | 古谷 | 石塚 | 橋村 | 高橋 | 戸嶋 | 渡邊 | 小松 | 小笠原 | 橋本 | 本間 | 秩父 | 挽野 | 佐藤 | 佐藤 | | |
| 議案第34号 令和5年度大仙市一般会計予算 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● |
| 陳情第17号 「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書 | 不採択 | ● | ● | ● | ● | 議長 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ |
| 陳情第22号 「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書のうち、「地域間格差をなくす部分」について | 不採択 | ● | ● | ● | ● | 議長 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ |

欠席者は欠、賛成者は○、反対者は●とします。議長は採決に加わりません。

当初予算質疑



秩父博樹 議員（公明党）

◇予防接種経費について

【質疑】帯状疱疹予防接種は、費用を除けば、発症予防効果の高い不活化ワクチンを接種することを推奨し、助成に重点をおくべきではないのか。

【健康福祉部長】 県内市町の状況を見ると、対象者を65歳以上とし、生ワクチンと不活化ワクチン共に4千円を1回のみの助成となっている。市では、対象者を接種可能年齢の50歳以上としたほか、生ワクチンと不活化ワクチンのそれぞれの規定回数分において、1回につき5千円を助成することとしたものである。

安達成年 議員（大地の会）

◇地域の花火大会等応援事業費について

【質疑】小学生花火観覧事業の観覧希望者を2割と積算した根拠は。また、対象を一般市民に拡充する考えはあるのか。

【経済産業部長】 この事業は、コロナ禍以前に教育委員会で行っていた事業を引き継いだものであり、その事業実績である2割弱という結果を参考に予算計上したものである。現在、対象を一般の方へ拡充することは考えていない。

鎌田正 議員（大地の会）

◇公有林整備事業費について

【質疑】搬出単価について、市場単価とかけ離れているのではないかと、また、山の形状がそれぞれ違うが、同じ単価となっているのはどうしたことなのか。

【農林部長】 搬出単価は、県の造林補助事業標準単価を参酌し積算している。今の実勢単価よりも非常に低いという指摘であるが、仙北西・東森林組合からの見積もりをベースに算出している。

【質疑】森林組合の積算を丸のみした予算となっているのではないかと、積算を森林組合に依頼し、それを市で検証したのか。

4月から森林専門監が採用になることから、ぜひ、この事業をゼロベースに戻し、再構築しては。

【市長】 森林専門監、関係機関、関

係者のご意見を聞き、もう一度、事業を再構築させていただきたい。

※この他、豊かな森づくり推進事業費、夢ある農業経営総合支援事業費、森林の魅力増進事業費について質疑がありました。

金谷道男 議員（大地の会）

◇移住・定住推進事業費について

【質疑】移住後のフォローは、どのような予算で行うのか。

【企画部長】 移住希望者への紹介や情報提供を行う移住コーディネーターの配置に係る経費として403万4千円、雪国暮らしに係る支援として除雪用具の購入費や雪道運転講習受講費を新たに200万円計上しており、移住前のみならず、移住後の悩みや不安の解消につながるサポート体制づくりを強化し、行政だけではなく地域住民や先輩移住者等が共に相談対応できる仕組みの構築を進めることとしている。

※この他、大豆産地化推進事業費、新規就農者育成対策事業費について質疑がありました。

青柳友哉 議員（大地の会）

◇デジタル改革推進費について

【質疑】公共施設予約システムを導入することで、業務時間や費用をどれほど削減できるのか。

【総務部長】 「市民による市政評価」におけるオンライン手続きへの移行要望が約60パーセントであることから、導入後のオンライン手続きへの移行率をこの数値と仮定すると、電話での受け付けと申請書への転記および整理・集約で年間約1300時間、人件費換算で約275万円の削減が見込まれ、併せて申請のために施設に来られる方の移動時間等の削減とペーパーレス化にもつながる。

※鎌田正議員の予算質疑に対する答弁の一部を定例会第5日の冒頭に行っております。

こちらから
YouTubeに
アクセスできます



定例会5日目



秩父 博樹 議員
(公明党)



Q 書かないワンストップ
窓口の取り組みは

A 他自治体の事例を参考に
し、準備を進めていく

質問 デジタルの恩恵を身近に感じられる「書かないワンストップ窓口」の取り組みを推進すべきでは。

市民部長 市では、「大仙市行政サービス改革大綱」における重点取り組みの中で、「来庁者にやさしい『市役所』の推進」を目指しており、申請書の集約や手続きの簡素化等について検討している。

本年2月には、利用者目線で窓口の課題等を探ることを目的とした「窓口利用体験調査」を職員が来庁者になりきる形で実施したが、夫婦と子ども、高齢者、飼犬がいる6人世帯の転入を想定したケースでは、異動届や児童手当の申請など、9枚の申請書等への記入が必要であり、ある程度窓口がワンストップ化されているお悔やみのケー

スでも8枚の申請書等への記入が必要であることを確認している。

参加した職員からは「氏名、住所等同じことを何度も記入する」「署名のみで足りる書類は1枚もない」「手続きがこれで全て終わったかどうか不安である」など、利用者目線での多くの課題が挙げられている。

「書かないワンストップ窓口」の導入は、市民の利便性を大きく向上させ、特に高齢の方や障がいのある方にとっては、利用しやすい「やさしい窓口」になると同時に、職員の負担軽減にもつながり、結果としてきめ細やかなサービスの実現が可能になるものと認識している。

先進的に取り組んでいる自治体の事例を参考にしながら、本市に即したやり方を模索し、「行かなくて済む『市役所』の推進」と「来庁者にやさしい『市役所』の推進」に向けて準備を進めていく。

○この他、レジ袋として使える「市指定ごみ袋」の取り組みについて質問しました。



小笠原昌作 議員
(新政会)



Q 物価高騰に対する
対応について

A 効果的な物価高騰対策
を実施していく

質問 物価上昇が社会経済や市民生活に大きな打撃を与えている。市として積極的な対応が必要ではないか。

市長 原油価格や電気・ガス料金等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担の軽減を、地域の実情に応じて実施できるよう、地方創生臨時交付金の活用が拡充されたことを受け、経営の厳しい事業者支援を中心に、地域経済の下支えに努めている。また、重度障がい者および介護者を在宅で介護する世帯などへの給付、農業用肥料高騰に対する農業経営体支援、介護施設や保育所など社会福祉事業者への燃料高騰支援など、市独自の物価高騰による影響を緩和するための対応を緊急かつ機動的に実施している。今後、国や県の追加対策の動向と歩調を合わせ、効果的な物価高騰対策を実施していく。

◆年度替わりの当局の事務の引き継ぎと申し送りについて
質問 定期人事異動などによって、前任者に市民の要望や何年も前の課題、難題が置き去りにされていないか。当局の「引き継ぎ」「申し送り」は、滞りなく支障のないように行われているか。

総務部長 内示等の事由発生後、速やかに前任者が「事務引継書」を作成し、後任者または所属長が指定する職員に引き継ぐこととしており、その徹底についても周知している。特に、市民からの要望や課題、懸案事項には十分に注意して行っており、議員ご指摘のような漏れがないよう周知徹底を図っていく。

◆大仙市のサクラのPRについて

質問 大仙市内各地で咲き誇るサクラは見事なもの。今後、県内外に新たな名所として、重要な観光資源としてPRしてはいかかか。

観光文化スポーツ部長 今後、市の観光ガイドマップにサクラの名所等を新たに掲載することに加えて、市のホームページやSNSでの発信を強化し、周知を図っていく。また、第3次大仙市観光振興計画に掲げる、本市の雄大な自然、豊かな農・食、多彩な文化、多様なスポーツの4分野を組み合わせた積極的な観光PRを推進し、観光客の取り込みに努めていく。



橋本 琢史 議員
(新政会)



Q ふるさと納税への今後の取り組みについて

A 市のPRの新たな展開やサイトの運用等を委託する(株)JTB等との連携強化

質問 今後のふるさと納税制度への取り組み方針について伺う。

今野副市長 返礼品のさらなる充実・拡充、返礼品提供事業者の新規開拓に引き続き取り組み、全国に発送される返礼品の梱包資材の活用による本市のPRを新たに展開してまいりたい。また、サイトの運用・管理等業務を委託する(株)JTBとの連携強化を図るなど、寄付額増加に向けた取り組みを進めてまいりたい。

質問 寄付者のリピーター確保に向けた返礼品の選定および見直しについて伺う。

今野副市長 リピーター確保に向けては、本市の強みでもある「コメ」のさらなる充実・強化が必要であると考えており、米と野菜などをセットにした返礼品を提供できる体制づくりを進め、大仙市産米の良さを広くPRしてまいりたい。

質問 寄付された財源の活用について伺う。

今野副市長 令和3年度に活用した事業の多くは、子育てと教育の充実に関する事業であり「すこやか子育て支援事業」「病児・病後児保育事業」「体験的学習時間支援事業」「各種大会派遣費補助金」「大仙市スポーツ少年団補助金」および「大仙市スポーツ少年団大会派遣費補助金」等へ7,937万円、その他「自治会育成支援事業費補助金」に1,706万円を活用しており、活用全体額は9,643万円となっている。

◆スポーツ振興について

質問 スポーツ合宿誘致およびスポーツ施設の維持管理、修繕費の年次計画について伺う。

観光文化スポーツ部長 観光・文化・スポーツ施設などの資源を活用し、多方面からスポーツ合宿等を支援するため「大仙市スポーツツーリズムコミッション」を設立しており、そこを中心に誘致活動を展開してまいりたい。

維持管理については、計画的に改修や整備を行う必要があると判断した場合は、公共施設等総合管理計画と併せ、整備に必要な内容と経費、実施時期等の個別計画を独自に作成することも考慮してまいりたい。計画的に施設環境を整えながら、スポーツツーリズム活動の推進並びにスポーツ合宿事業の発展につながるよう努めてまいりたい。



戸嶋貴美子 議員
(だいせんの会)



Q 長い間、英語教育を受けても、英語を話せない。今後の体制は

A 引き続き、質の高い英語学習の環境整備に努めていく

質問 ALT (外国語指導助手) の住居、交通手段等の改善についてさまざまな要望が届いているが、意思疎通できているか伺う。

教育委員会事務局長 定期的にALTの研修会を行い、授業のアイデアを共有したり、毎日の生活に係る情報交換をしたりする機会を設け、ALTが随時、担当指導主事や国際交流員に相談できる体制を整えている。

住居については、JETプログラムのマニュアルにより、ALTがスムーズに生活を始められるように、来日前に教育委員会が代行して住居等を確保している。教育委員会としては、引き続きJETプログラムのマニュアルに基づき、ALTの要望も踏まえながら、きめ細やかに対応してま

いりたい。

質問 なぜ学生たちは、長く英語教育を受けているにも関わらず、英語を話せないのか。

人口10万人当たりのALTの人数は、福井県は30人、山形県は20人、秋田県は18.8人。大仙市は11人である。

英語教育のALTの体制はこれでよいのか伺う。

教育委員会事務局長 ALTの配置やデジタル教科書の導入を進めており、さらに「グローバルジュニアマイスター育成事業」「大仙イングリッシュデー」、各学校の「インターナショナルデー」へのALT派遣などにより、外国語を通じたコミュニケーション能力の向上を図っている。

また、県の事業を活用し、平成30年度から全ての中学校2・3年生に対して「英検I B A (英語能力判定テスト)」を実施している。学校においては「英検I B A」の結果を分析し、授業の改善に役立てている。引き続き、全ての児童・生徒のために質の高い英語学習の環境整備に努めてまいりたい。



安達 成年 議員

(大地の会)



Q 庁舎および学校施設整備基金条例をなぜ新規に制定するのか

A 庁舎整備、学校整備に要する資金の可視化、経理の明確化のため

質問 現在の公共施設適正管理基金の条項の改正で可能と思われるが見解を伺う。

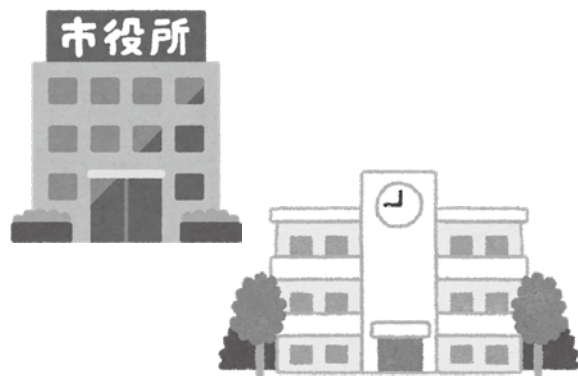
佐藤副市長 基金を一本化した場合に、基金規模や積立額の適正性が判然としなくなることを懸念し、別立てとしている。

質問 大仙市公共施設等総合管理計画とは別の計画か。別の新たな計画であれば、それを市民に公表し、意見を伺うのか。

佐藤副市長 来年度、庁内検討会議を立ち上げて議論を進め、方向性を出せる段階で、議会や市民の皆さまにお示しして議論を深めてまいりたい。

質問 基金積立額の根拠や積立期間を伺う。

佐藤副市長 庁舎・学校施設については、その施設規模にもよるが、数十億円の事業費を要すると想定しており、庁舎整備には国庫補助金や交付税算入のある有利な起債が見込めないため、財政運営における将来負担の軽減を図るには、蓄えが必要である。具体的な積立額や期間、整備の方向性・計画などを早期に具体化し、明らかにしなければならないと考えており、市民サービスの提供と財政健全化に意を配しながら、積み立てを行ってまいりたい。



佐藤 文子 議員

(日本共産党)



Q 国保税均等割18歳年度末まで減免を

A 国の制度としての実施が望ましい

質問 国保法の減免規定を活用するなどし、全国で29自治体が国保税の子どもの均等割減免を実施している。高すぎる国保税の要因となっている均等割について「子どもがいることを特別な事情」と捉え、18歳年度末までの減免を実施すべきと考えるがどうか。

市民部長 「子どもがいる世帯だけ」を「特別な事情」と認めて減免を行うことは、その負担を他の被保険者に求めることになり、一般会計からの繰り入れとなれば市全体で負わなければならない。国の制度としての実施が望ましく、市長会等を通じ、軽減割合と対象年齢のさらなる制度拡充を国に働きかけてまいりたい。

◆新型コロナウイルス対策について

質問 新型コロナウイルス感染症を5類に引き下

げるとのことだが、終息したわけではないことから、住民の命と健康を守る施設の強化・拡充が必要だ。

①検査・治療・予防接種の公費負担の継続、②外来診療体制の拡充、③予防接種実施医療機関の体制強化、④入院・救急搬送体制の拡充、⑤高齢者施設での感染、重症化防止、⑥病院統廃合や病床削減を進める県の地域医療構想は中止するよう求めることの6点に対する見解を求める。

健康福祉部長 ①②③については、市として今後も市民が不安を感じることがないように、国・県の施策等を注視し、適切に対応してまいりたい。④の救急搬送については、大きな問題なく対応できていると捉えている。⑤について、高齢者施設等には市として、これまでマスクの配布などを行っているが、引き続き、感染状況に応じた支援をしてまいりたい。⑥の県の地域医療構想については、病床削減や統廃合を前提にしたものではなく、地域の実情を踏まえることとしており、大仙・仙北の二次医療圏においても少子高齢化を踏まえた中長期的な医療ニーズ構想の策定が必要となることから、大曲仙北医師会と情報共有しながら体制整備に努めてまいりたい。

○この他、インボイス制度について質問しました。



青柳 友哉 議員
(大地の会)



Q 教育留学の受け入れを始めてみては

A 教育面と移住促進面の両面を意識して実施する

質問 市外の保護者と子どもたちが大仙市を訪れて滞在している間、住民票を移すことなく、子どもたちが市内の保育施設や小中学校へ、一時的に通園通学できる「教育留学」を始めてみては。

今野副市長 園児・児童・生徒と保護者が一時的に本市に滞在する際に、市内保育施設や小中学校に通園通学するという形式での「教育留学」については、受け入れ可能と考えている。この取り組みは、豊かな自然の中でのびのびと過ごすことができる「移住体験」でもある。現在、策定中の第3期移住・定住促進アクションプランにおいても、施策の一つにする予定としている。「教育留学」を通じて、本市の子育て環境を体験していただくことで、移住後の不安の解消を図るととも

に、市の魅力も大いにPRしながら、子育て世代の移住を促進していく。

質問 実施の際には、利用者の利便性を考えて受け入れ体制を整えてほしい。また、PRやアフターフォローにも力を入れてほしい。

今野副市長 教育留学のワンストップ窓口を移住定住促進課に設置し、関係各課と連携を図りながら利用者の利便性向上に努める。また、市のホームページやSNS、移住希望者が情報収集で利用するWebメディアなどで積極的に情報発信を行っていく。さらに、教育留学による移住体験をきっかけとして「大仙市に関わりたい人」が増加することを踏まえると、アフターフォローは重要だと考えている。教育留学後も、利用者に対して、移住に関する情報提供を定期的に行い、継続的なつながりを大切にしていくことで、大仙市を選んでいただいて「移住・定住者」となってもらえるように努めていく。



挽野 利恵 議員
(公明党)



Q ユニバーサルデザインフォントを導入しては

A SDGs推進の観点から、活用について研究していく

質問 “SDGs未来都市”である本市において、誰一人取り残さないために、読みやすく、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を導入しては。

総務部長 UDフォントは、日常生活における使いやすさ、見やすさ、数字の見間違えにくさなどに配慮して設計されたフォントであると認識している。文書をはじめ、広報紙やホームページ、チラシ、案内板など、市民に分かりやすく正確な情報を伝えることは、行政にとって大変重要なことである。文書等の作成に当たっては、分かりやすい用字や表現を用いて簡潔な文書等を作成することはもとより、文字の大きさや書体、レイアウトなどを工夫し、分かりやすく、認識しやすい情

報の提供に努めている。SDGs推進の観点からも、先進事例や他自治体の取り組み事例なども参考に、UDフォントの活用について研究していく。

質問 発達性読み書き障害であるディスレクシアの児童生徒にも読みやすいUDフォントを、小中学校で導入しては。

教育委員会事務局長 以前より、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業改善や特別支援教育の充実を図っており、読みやすい文字の形に配慮することもその一つと捉えている。校務用パソコン、GIGAタブレット端末のどちらにも複数のUDフォントが標準で搭載されており、教職員が作成する学校報や授業教材等はもとより、子どもたちが制作するデジタル作品においても使用されるなど、UDフォントを使用する機会が拡大している。今後も誰もが読みやすい書体の活用について推進していく。

○この他、脱炭素型ライフスタイルへの転換について質問しました。



本問 輝男 議員
(新政会)



Q 児童・生徒の給食費無償化への決断を

A 無償化を議題としており、協議している

質問 令和4年度末に中仙学校給食センター改築工事が完了し、令和8年より仙北地域の統合をもって統廃合計画が完了となる。

令和5年度大仙市学校給食事業特別会計は、10億5千万円余りであり、保護者よりの納付金が、少子化により前年度比1,090万円減の3億400万円余りであるため、残りの部分を市の繰り入れで運営する予算となっている。

令和5年度、市の児童・生徒数は4,697人だが、令和10年には3,965人に減少し、納付金も大幅に減額する予定にある。

今、消費者物価の高騰等により、給食費の納付は保護者の生活を圧迫する要因の一つと考える。国等の子育て支援も重要だが、もっとも分かりやすい支援策は、給食費無償化の実現では。

教育長 学校給食事業特別会計は大きく二つの内容から成り立っており、一つは保護者からの納付金

を食材費に充てており、もう一つは一般会計からの繰入金で施設全般の維持管理費等に充当している。従って、児童・生徒数の減少により、食材費の部分の予算は縮小することになる。

一方、給食センターの統合により、令和8年度以降は年間3千万円程度の経費削減が見込まれ、少子化に見合った体制が構築され、将来にわたり給食の安定供給ができると考えている。

保護者納付金の在り方の検討については、子育て支援制度等検討会議で、給食費無償化も議題としており、無償化の具体的な例を挙げ、協議している。

質問 市の財政を考察しながらも、避けては通れない少子化対策を考慮すると、いつかは思慮し、決断すべきでは。

市長 保護者納付金の無償化は市の財政運営上、大きな額と捉えているが、メリットも多々あると理解している。国の子育て支援の予算倍増という形の中で、国で負担すべきではないかとの議論もあると承知している。国の動向を見極めながら、子育て支援制度等検討会議で継続して検討し、判断してまいりたい。

○この他、市債発行の対応と姿勢や人口減少と少子化の情報共有、地域振興事業（地域枠）の検証と方向について質問しました。

議会の条例等を改正・制定しました

「大仙市議会の個人情報の保護に関する条例」を制定しました

令和5年4月の新個人情報保護法の施行に伴い、地方公共団体は同法の共通ルールが直接適用されることとなるのに対し、議会は同法の適用対象外とされました。

このことから、同法の趣旨を踏まえた内容で、議会の個人情報保護に関するルールとして新たに「大仙市議会の個人情報の保護に関する条例」を制定しました。



「大仙市議会の個人情報の保護に関する条例」の全文は、市議会のホームページで公開しております。



オンラインでの委員会開催が可能になりました

令和5年第1回大仙市議会定例会において、「大仙市議会委員会条例」と「大仙市議会会議規則」の改正案が提出され、原案可決されました。

これにより、重大な感染症のまん延、もしくは災害等の発生、または育児・介護、その他やむを得ない事由により、委員が委員会の開会場所に参集することが困難な場合でも、オンラインによる方法で委員会開催が可能になりました。



改正した委員会条例と会議規則は、市議会のホームページで公開しております。



教育厚生常任委員会

条例案10件、補正予算案5件、当初予算案5件、請願1件、陳情2件、意見書案2件を審査し、次のような質疑がありました。

●令和5年度大仙市一般会計予算 プラスチック資源循環事業費

【問】プラスチックごみを分別収集したものについては、リサイクル業者が買い取った上で回収してくれるのか。

【答】プラスチックごみの再商品化に係る費用が再商品化した製品の販売価格を上回る見込みであるため、市が処理費用を支払うことになる。環境問題への取り組みとして、コストをかけて進めていくことになるが、燃やせるごみの処理費用の低減や、焼却炉の長寿命化といった効果が期待できる。

成人式経費

【問】成人式という若者が多く集まる機会を捉え、地域づくりについて考えてもらう企画などをそれぞれの公民館が成人式事業実行委員会と連携し、実施できないか。

【答】成人式の内容は、成人式事業実行委員会が主導し、検討していくが、アトラクションは、地域で活躍している方の話を聞く講演や地域資源の活用など、ふるさとの良さを実感してもらえる内容となるよう、提案をしてみたい。また、事業を実施して終わりではなく、次につながる仕組みづくりも考えてみたい。

◇請願第1号「免税軽油制度の継続を求める請願書」、陳情第21号「消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める陳情書」の2件については、願意を妥当とし、採決の結果「採択すべきもの」と決しました。

◇陳情第17号「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書については、「公平な消費税制度を確立するために導入される制度である」「制度に対応するための対策がすでに講じられており、実施延期は手遅れである」との意見があり、挙手による採決の結果「不採択すべきもの」と決しました。

総務企画常任委員会

条例案4件、単行案1件、補正予算案1件、当初予算案7件を審査し、次のような質疑がありました。

●大仙市庁舎整備基金条例の制定について

【問】庁舎整備に係る基金を積み立てるに当たり「いつまで整備する」という目標や計画を明確にして臨みたいが、いかがか。

【答】具体的な計画等の策定については、4月以降に着手予定である。追って示してまいりたい。

●令和4年度大仙市一般会計補正予算(第10号) 長期債元金償還金

【問】現在、高利子のものはどのくらい残っているか。

【答】民間金融機関から借り入れしている、利率2パーセントを超える高利子のものは借り換えが完了している。金額の多寡によらず、低利子への借り換えを進めてきている。

●令和5年度大仙市一般会計予算 車両運行経費

【問】公用車両の運行経費が前年度より減となっているのはなぜか。

【答】車両台数が減となっていることによる。今後も計画に基づき、車両数の適正化を図ってみたい。

消防団音楽隊管理運営費

【問】消防団音楽隊の令和5年度における活動計画はどうなっているか。

【答】参加する行事等については現在協議中であるが、当面は年に数回、市内行事等における活動を想定している。

南小学区コミュニティセンター改築事業費

【問】南外地域の同施設を改築するに当たり、改修工事期間中、施設利用者には代替の施設などは用意しているのか。

【答】現在の活動に影響が出ないように、同地域にある旧小学校の体育館などを代替の施設として利用いただくこととしている。

主な議会のうごき

1月

11日 令和5年 大仙市中学生議会
12日 広報広聴常任委員会
大仙市議会議員と農業委員会委員との意見交換会

2月

7日 議員全員協議会
総務企画常任委員会協議会
教育厚生常任委員会協議会
13日 広報広聴常任委員会行政視察（～14日）
15日 議会運営委員会
16日 産業建設常任委員会所管事務調査
22日 第1回定例会（第1日）
議員全員協議会

3月

6日 第1回定例会（第2日）
広報広聴常任委員会
7日 第1回定例会（第3日）
8日 第1回定例会（第4日）
9日 各常任委員会審査
各常任委員会協議会
10日 各常任委員会審査
各常任委員会協議会
15日 議会運営委員会
畜産振興議員連盟役員会
17日 第1回定例会（第5日）
24日 大仙市議会基本条例議員研修会

ようこそ 大仙市へ

行政視察の受け入れ状況をお知らせします。

1月

30日 鳥根県安来市議会（農事組合法人たねっこの取り組みについて、西仙北ぬく森温泉ユメリアの取り組みについて）
岩手県紫波町議会（空き家対策事業について）

議長交際費（1月1日～3月31日）

| 項目 | | 件数 | 金額 |
|-------------|----|-----|----------|
| 予算額 | | | 850,000円 |
| 既支出額（4～12月） | | 59件 | 564,430円 |
| 支出額 | | 22件 | 168,720円 |
| 内訳 | 弔慰 | 3件 | 30,000円 |
| | 慶祝 | 14件 | 103,000円 |
| | 協賛 | 5件 | 35,720円 |
| 予算残額 | | | 116,850円 |

産業建設常任委員会

条例案8件、単行案4件、補正予算案3件、当初予算案7件、陳情3件を審査し、次のような質疑がありました。

●令和4年度大仙市一般会計補正予算(第10号) 除雪対策費

【問】 消融雪施設電気料負担金について、地元とどのような取り決めになっているのか。上限を設けて、住民側も相応の負担をするべきと思うがいかがか。

【答】 「電気料金の負担に関する要綱」を策定し、除雪の出動回数や消融雪施設の稼働時間などの積算根拠に基づき算出している。電力標準使用量を設定し、これを超えた分は組合の負担としているので、際限なく市で電気料を負担するという認識はない。今回の補正は、電力標準使用量が増えたことによるものであり、要綱に沿った対応である。

●令和5年度大仙市一般会計予算 工業振興奨励事業費

【問】 大企業の進出があれば、若者が大仙市に残り、街の活性化も図られると思う。工業振興事業が推進されることは評価するが、それに見合うだけの労働力が伴うのか。立地企業の雇用についてどのように考えているのか。

【答】 業種を見極めながら誘致活動に取り組むことが重要と考えている。企業が進出しても働き手がない状況を作らないよう、誘致に努めていきたい。

多目的人工芝グラウンド整備事業費

【問】 令和5年7月供用開始となるが、こけら落としは何の大会を予定しているのか。

【答】 第1弾として、7月1日、2日に大仙市長旗少年サッカー大会、第2弾に全国500歳野球大会、第3弾として、当市とスポーツ協定を締結しているミズノ株式会社との共催によるスポーツ教室の開催を予定している。

産業建設常任委員会所管事務調査

2月16日、大仙市花館上大戸にある大仙市営水産ふ化場の現状を視察し、課題や問題点について、運営を委託している雄物川鮭増殖漁業生産組合の皆さまと意見交換をしてきました。

はじめに施設の課題については、今、国では大型稚魚育成を推奨しているが、そのためには多くの池や水量が必要となり、さらに飼育日数も長期になってしまう。県では大仙市のふ化場に大型稚魚240万尾の放流目標を設定しているが、現在のふ化場の飼育能力では140万尾でもゆっくり大きく育てることがで



きないということでした。

また、地下水の場合は停電になった時に水が止まり、魚に酸素が行き渡らずに全滅してしまうので、調整池を設置し、発電機を使用してポンプで水を汲み上げる必要があると伺ってきました。

このほかに、事業体制に関する課題、ふ化技術等に関する課題、組合経営に関する課題についても意見交換をしてきました。

(産業建設常任委員会

委員長 高橋 徳久 記)



広報広聴常任委員会行政視察

2月13日、東京都あきる野市を訪問し、議会だよりの編集について視察させていただきました。

同市では平成23年に全国の議会報を見比べてもらう市民アンケートを行ったところ、同市の議会報を選んだのはわずか4パーセントだったことから、より多くの市民に読んでもらえるよう、紙面のリニューアルを決定したそうです。

現在の紙面は、2・3面で市民との交流を特集し、その中の1人を表紙に取り上げ、紙面の流れの一貫性を演出。4面以降は定例会の内容ですが、市民に直結するものに絞り、見やすい紙面づくりをされていました。紙面に載らなかった議案等は、ホームページや議会事務局へとの一文がありました。紙面では行政用語ではなく「通じる言葉」に置き換え、また読みやすいように、余白を多めにし、さらに写真の位置と大きさを統一することで、洗練された印象を受けました。

掲載する情報は減りましたが、市民アンケートでは「リニューアル後の紙面が良い」

が84パーセント、情報量については「ちょうどよい」が74パーセントとの評価だったそうです。

翌14日は新宿区にある日本広報協会にて、全国各地の議会報を拝見させていただきました。紙面づくりを工夫されている議会がたくさんあり、委員一同、大変に刺激を受けてまいりました。

視察させていただいたことを、これからの紙面づくりに生かしていきたいと思います。

(広報広聴常任委員会

副委員長 挽野 利恵 記)



今年度から大仙市畜産振興議員連盟が始動します

令和4年12月15日に設立総会を開催し、大仙市畜産振興議員連盟が設立されました。

この連盟は大仙市の畜産振興の推進や活性化に資する活動を行うことを目的とし、議員全員（24名）で構成されています。畜産振興を推進することを目的とした議員連盟の設立は、県内市町村議会では初めてです。

【本会の役員】

| 役職 | 氏名 |
|-----|--------|
| 会長 | 佐藤 育男 |
| 副会長 | 橋村 誠 |
| 幹事長 | 鎌田 正 |
| 幹事 | 秩父 博樹 |
| 幹事 | 高橋 徳久 |
| 幹事 | 小笠原 昌作 |
| 幹事 | 金谷 道男 |
| 監事 | 橋本 琢史 |

4月3日に開催された総会では、関係自治体・機関と連携した市畜産振興対策に係る研修会の開催や大仙管内の若手畜産農家との意見交換などを盛り込んだ令和5年度事業計画案と予算案が承認されました。

今後、市の畜産振興の推進、活性化に資するための活動を進めてまいります。



大仙市畜産振興議員連盟総会の様子

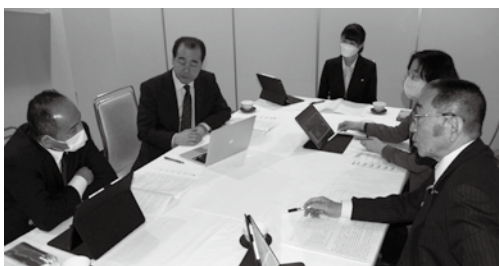
「大仙市議会基本条例」議員研修会を開催しました

3月24日、大仙市議会基本条例研修会を開催しました。講師には青森大学社会学部教授の佐藤淳^{しん}氏を招き「「議会基本条例」の原点に立ち戻ろう」と題して講演していただきました。

研修の中で、議会基本条例に沿った活動を実施できているのかどうか自己評価を行い、それを議員同士で共有し、意見交換を行いました。

研修の最後に、議員と事務局職員それぞれが議会改革に向けて何に取り組むか決め、共有しました。

引き続き、議会の活性化に向けた改革に取り組んでまいります。



研修会の様子

市政懇談会を開催します

市民の皆さまと自由に意見交換する市政懇談会を、次の日程で開催します。

今回の市政懇談会では、地域ごとに意見交換の「テーマ」を設け、市民の皆さまからご意見をいただきたいと考えています。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

※意見交換の「テーマ」については、後日、ホームページ等でお知らせします。

最新の情報はホームページでご確認ください。



【お問い合わせ】 議会事務局 TEL 63-1111 (内線 303)

| 開催日 | 会場 | 時間 |
|----------|-------------------------------|----------|
| 6月23日(金) | 神岡福祉センター(神宮寺字蓮沼17) | 午前10時～ |
| | 南外コミュニティセンター(南外字下袋218) | 午後1時30分～ |
| 6月24日(土) | 藤木公民館(藤木乙本藤木8) | 午前10時～ |
| | 四ツ屋公民館(四ツ屋字西下瀬162-4) | 午後1時30分～ |
| 6月25日(日) | 大川西根公民館(大曲西根小館10) | 午前10時～ |
| | 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」(大曲大町7-19) | 午後1時30分～ |
| 6月26日(月) | さくまろ館(高梨字田茂木10) | 午前10時～ |
| | おおたコミュニティプラザ(太田町横沢字横沢字窪関南501) | 午後1時30分～ |
| 6月27日(火) | 協和支所(協和境野田4) | 午前10時～ |
| | 大綱交流館(刈和野字愛宕下24-1) | 午後1時30分～ |
| 6月28日(水) | 中仙農村環境改善センター(北長野茶畑141) | 午前10時～ |

